

町会長のひとりごと

五井中と京葉小の卒業式に出席しました。今回は合唱に注目しました。

① 五井中の卒業式

3月10日は晴天に恵まれ、259名の皆さんが卒業されました。式の中で印象的だったのが合唱でした。五和祭という行事を通じて合唱に力を入れていることがわかりました。卒業生の答辞の途中に「僕のこと」という合唱がはいると趣向でこの歌が若者の日常の葛藤をつづったような歌で感動的でした。そして最後の卒業の歌は「遥かなる夢に」でした。この歌は香港のロックバンド Beyond というグループが1,993年にリリースした曲です。さびの部分の歌詞がまたいい感じなのです。

「終わりのない旅の途中で 振り向けば君がいる

人は皆ひとりきりじゃ生きてゆけないから・・・」

このフレーズが繰り返されるのです。

この歌を聴きながら、「共助」という言葉が浮かんできました。当町会も設立から約30年経過しようとしています。会員の皆さんも高齢化が進みました。これまで出来たことが出来なくなる方が増えてきています。できる人たちが支えていかなければならないことを痛感しました。

② 京葉小の卒業式

3月14日も晴天に恵まれ、103人の皆さんが卒業されました。最初に5年生の皆さんが卒業生を贈る言葉を掛け合いで行い、感謝の気持ちを伝え、「旅立つ君へ」という合唱曲を歌いました。声量もあり、元気いっぱい上手な合唱でした。

そのあと卒業生がお別れの言葉を掛け合いで、先生方やご両親へ6年間の感謝を込めて行いました。中学校の制服姿でだいぶ緊張した様子は初々しさが感じられ、中学生という新たな道に対する不安もあるかのようでした。そして「旅立ちの日に」という卒業式では定番の合唱です。この曲は、1,991年に埼玉県秩父市の中学校の先生によって作られた合唱曲です。作詞は当時の校長先生、作曲は音楽の先生です。

当時、荒れていた中学校を立て直すために「歌声の響く学校」にしたいとの思いから合唱の機会を増やす取り組みが実施されました。当初生徒たちの抵抗もあったようですが、先生方の粘り強い努力の結果、中学校の雰囲気は明るくなったとのこと。この取組の3年間の集大成として作られたこの曲を「3年生を送る会」で先生方が卒業生に向けて歌われたという暖かいエピソードです。卒業生を鳥に例えて、「勇気を翼に込めて希望の風にのり この広い大空に夢をたくして」先生方の愛情が感じられる1曲でした。

You tube で「遥かなる夢に」、「旅立ちの日に」を聞いてみてください。

以上

五井西町会

会長 阿部 昌明

2024. No6